

道路建設事業の再評価項目調書

事業名		一般国道54号 可部バイパス		事業主体	中国地方整備局
所在地		ひろしま あさきた かべみなみ ひろしま あさきた おおばやしちょう 広島市安佐北区可部南1丁目～広島市安佐北区大林町			
事業概要		一般国道54号は、ひろしまを起点にみよしを経由しまつえに至る延長約180kmの主要幹線道路である。 可部バイパスは、ひろしまの一般国道54号の慢性的な交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的として計画された延長9.7kmのバイパスである。			
事業着手		昭和56年度			
総事業費		約640億円	既投資額	平成14年度末まで 約430億円（進捗率67%）	
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	ア)事業をめぐる社会情勢等の変化 一般国道54号沿道の広島市北部地域は、急激な宅地化が進み、人口増加による通勤・通学交通の増加や広島都心部への通過交通等により、慢性的な交通混雑や交通事故が多発しており、都市活動に重大な影響を及ぼしている。			
		イ)費用便益分析			
		道路事業に要する費用		道路整備による効果	
		総費用 評価対象期間内 = 整備期間 + 40年 〔総事業費 約640億円 部分供用に要した事業費 390億円 残区間整備に必要な事業費 250億円 現在価値換算事業費 225億円〕 事業費 225億円 維持管理費 31億円 総費用 + = 256億円(C)		走行時間 短縮便益 1,019億円 走行経費 減少便益 36億円 交通事故 減少便益 12億円 総便益 + + = 1,067億円(B)	
		費用対効果分析の結果 B / C = 4.2			
		「費用便益分析マニュアル(案)による」 (H10.6.26付け建設省道経発第14号通達)			

事業名		一般国道54号 可部バイパス	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	ウ)事業の進捗状況 1. 主な経緯 昭和56年度 事業着手 昭和56年12月 都市計画決定 昭和58年度 用地買収着手(起点:安佐北区可部南1丁目~国道191号間) 平成2年度 工事着手(起点:安佐北区可部南1丁目~国道191号間) 平成7年度 用地買収着手(国道191号~県道南原峡線間) 平成8年8月 起点(安佐北区可部南1丁目)~国道191号間(L=2.8km)暫定供用 平成10年度 工事着手(国道191号~県道南原峡線間) 平成10年度 事業再評価 平成11年度 用地買収着手(県道南原峡線~市道山倉線間) 平成13年度 用地買収着手(市道山倉線~終点:安佐北区大林町) 平成14年度 工事着手(県道南原峡線~市道山倉線間) 平成15年2月 都市計画変更 (市道山倉線の取付位置変更等に伴う構造変更) 平成15年3月 国道191号~県道南原峡線間(L=1.4km)暫定供用 2. 事業の進捗状況 ○工事の進捗状況 再評価時の工事進捗率は22%であったが、段階的な整備を進め、平成15年3月までに、起点(安佐北区可部南1丁目)から県道南原峡線までの延長4.2kmを暫定2車線で供用したところである。 また、平成14年度末までの進捗率は約51%である。 ○用地補償の状況 再評価時の用地の進捗率は25%であったが、平成14年度末までに全体の約69%の用地買収が完了している。		

事業名		一般国道54号 可部バイパス	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業進捗の見込み	・用地の進捗見込み 現在、県道南原峡線～終点（安佐北区大林町）までの用地取得を実施しているところであり、平成15年度末には約79%の進捗となる見込みである。 ・工事の進捗見込み 現在、南原橋の上下部工事を促進しているところであり、本年度は、県道南原峡線～市道山倉線間の改良工事に着手する予定である。また、残る区間についても用地買収が完了した区間より、順次工事を行うこととしている。		
	コスト縮減や代替案の可能性	・偏平なトンネル断面を採用し、内空断面を縮小することにより、コスト縮減が可能と考えている。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用等により、今後ともコスト縮減に務めることとしている。 ・また、この視点による再評価より、代替案を検討する必要はないと考えている。		
	今後の対応方針	・事業継続 平成10年代後半の（県）南原峡線から（市）山倉線間の供用を目指し事業を推進する。 残る区間については、平成20年代前半の供用を目指し事業を推進する。		

一般道54号可部バイパスの事業評価

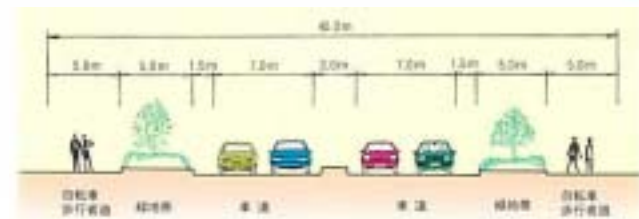


可部バイパスの位置図

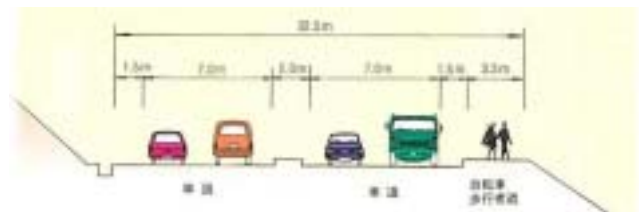


可部バイパスキャラクター
かー君・べーちゃん

可部バイパス事業概要



起点～(県)南原峡線



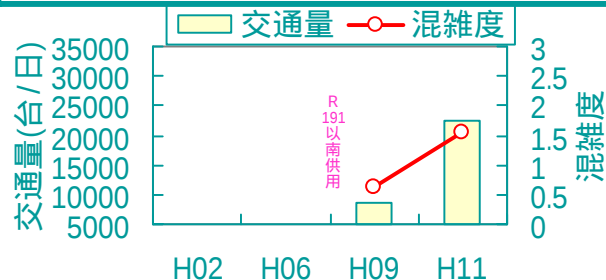
(県)南原峡線～終点

全 長	9.7km	
施工区間	起点～(県)南原峡線	(県)南原峡線～終点
延 長	4.2km	5.5km
道路区分	第4種第1級	第3種第2級
設計速度	60km/h	60km/h
標準幅員	40m	22.5m

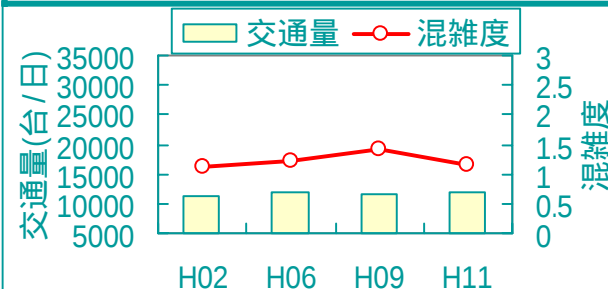
現況の交通状況：交通量・混雑度

- 可部地区の国道54号は交通量、混雑度ともに高く慢性的な交通混雑が続いている。

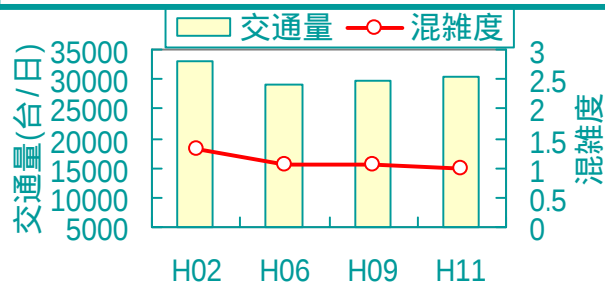
国道54号BP：安佐北区可部4丁目



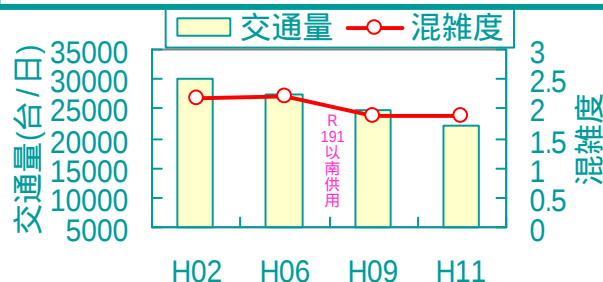
国道54号現道：安佐北区大林町



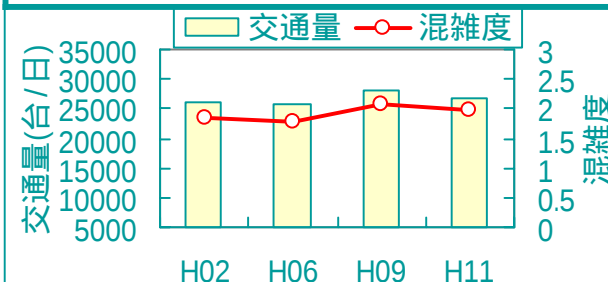
国道54号現道：安佐北区可部南4丁目



国道54号現道：安佐北区可部4丁目



国道54号現道：安佐北区三入1丁目



現況の交通状況：渋滞

- 国道191号から県道南原峡線開通により、国道191号分れ交差点の渋滞は解消された。
- 土居橋西詰交差点は2,000m以上の渋滞が発生している。



渋滞状況（安佐北区三入2丁目）



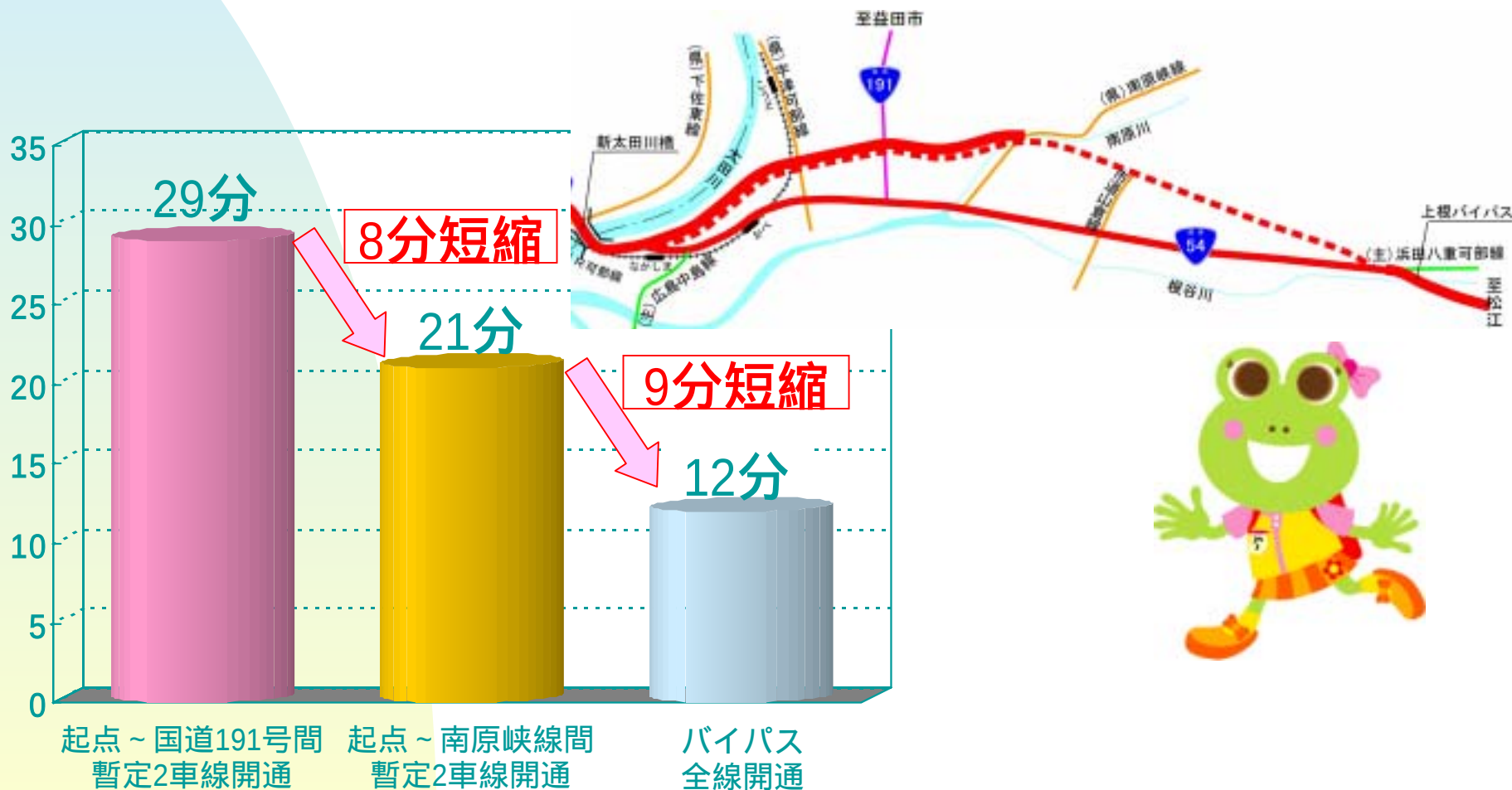
← 土居橋西詰交差点の渋滞方向

国道191号～南原峡線間供用前後の渋滞状況(夕ピーク時)

調査日：供用前 - 平成14年11月28日(木)
供用後 - 平成15年4月3日(木)

事業効果[走行時間]

- 可部バイパスが全線4車線で開通すると南原峡線まで暫定2車線で開通した場合(現況)と比べ9分の短縮が見込まれる。



可部バイパス起点～終点間の走行時間

事業効果[渋滞長]



- 土居橋西詰交差点は交通渋滞の緩和が見込まれる。
- 主要渋滞ポイントの交通渋滞の解消が見込まれる。

	国道191号 まで供用	南原峡線 まで供用	全線供用
朝ピーク時	2,250m	1,100m	解消
夕ピーク時	2,250m	1,100m	340m

桐陽台入口交差点(主要渋滞ポイント)：上り			
	国道191号 まで供用	南原峡線 まで供用	全線供用
朝ピーク時	500m	解消	解消
夕ピーク時	1,200m	950m	解消



国道191号分れ交差点(主要渋滞ポイント)：下り

	国道191号 まで供用	南原峡線 まで供用	全線供用
朝ピーク時	800m	解消	解消
夕ピーク時	800m	解消	解消

	国道191号 まで供用	南原峡線 まで供用	全線供用
朝ピーク時	2,150m	1,600m	解消
夕ピーク時	2,850m	2,600m	340m

← 土居橋西詰交差点の渋滞方向

全線開通した場合の効果

国道191号まで供用 - 平成14年11月28日(木)調査
南原峡線まで供用 - 平成15年4月3日(木)調査

全線開通時の渋滞長は交通量配分結果(H6⁺-X0D)
と現況の交通容量より算出